

「広島神楽」定期公演へようこそ!

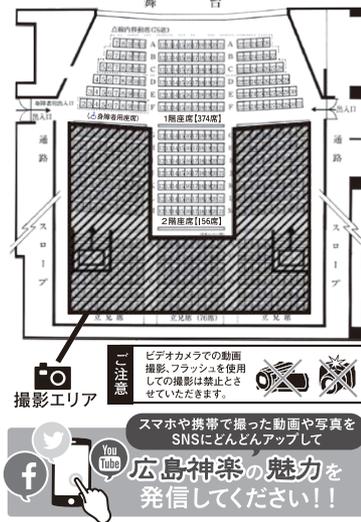
本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。
当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。
ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- (1) 座席での**飲食は出来ません**。ロビーをご利用下さい。
- (2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
- (3) お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で**危険な場合**がございます。**着席**での鑑賞をお願いします。
- (4) 撮影について
→写真撮影は右図の**撮影エリア**で行って下さい。
※ビデオカメラでの**動画撮影**、**フラッシュの使用は禁止**します。
(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)

以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

撮影エリアについてのご案内

写真撮影をご希望の方は必ず、下記の撮影エリアをお願いいたします。



9月27日のタイムスケジュール

出演：飯室神楽団（広島市）

19:00～開演

19:05～第一幕『塵倫』

（およそ40分）

～幕間（休憩）～

20:00～第二幕『八岐大蛇』

（およそ40分）

20:45～記念撮影会

衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。

本日の記念に是非ご参加下さい。

また、神楽団との交流もしていただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。

（舞台へは靴を脱いでお上がください。）

※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

いむろかぐらだん

飯室神楽団プロフィール ～広島市安佐北区～

当神楽団は土井泉神社を守護神として、昭和57年に飯室神楽同好会として発足しました。山県舞（矢上系六調子）、高田舞（阿須那系八調子）の流派の異なる両舞を伝承しております。神社例大祭はもとより、競演（共演）大会、県内外のイベントや等にも出演させて頂く機会に恵まれ、微力ながら花を添えております。伝統ある郷土芸能を古き先人より学び「情感」ある神楽を目指しています。我々の神楽が皆様方の生きたエネルギーとなればと願う所存でございます。若者の後継者としての育成に努め、地域に根ざし、人々の心の故郷となるよう団員一同努めてまいります。

何卒、温かいご声援、ご指導賜りますようお願い申し上げます。

第一幕『塵倫』（じんりん）

人皇・第14代仲哀（ちゅうあい）天皇の御代、異国より日本征伐を企てて数万の軍勢が攻めてきました。

その中に塵倫という身に翼があり、黒雲に乗って虚空を自由に飛び回る神通自在の大將軍がおり、国々村里を荒らし、多くの人民を滅ぼしていました。しかし、我が国にはこの大悪鬼にかなう者がいませんでした。

そこで仲哀天皇自ら不思議な霊力のある十善万乘（じゅうぜんばんじょう）の神変不測の弓矢を持って、神通力を持ち戦術にも長けた鬼を退治されたという物語です。

【出演】

大太鼓 … 下田 勝行	仲哀天皇 … 野見山 渉
小太鼓 … 吉村 公司	竹麻呂 … 倉頭 勇太
手打鉦 … 湯月 大生	塵 倫 … 佐々木 俊一
笛 … 大西 菜つみ	

第二幕『八岐大蛇』（やまたのおろち）

出雲の国に暮らす足名稚（あしなづち）・手名稚（てなづち）老夫婦には八人の娘がいました。しかし年毎に一人またひとりと大蛇に飲み取られ、七人まで娘を失いました。そしていよいよ八人目の娘が飲み取られる季節となり、老夫婦と八人目の娘・奇稲田姫（くしいなだひめ）は嘆き悲しんでいました。そこへ高天原（たかまがはら）から舞い降りた須佐乃男命（すさのおのみこと）が通りかかり、その訳を聞きます。

命は、大蛇退治を決め、老夫婦に八塩折（やしおり）の毒酒を造らせ酒を入れた樽の後に姫を立たせます。やがて、どこからともなく大蛇が現れ、毒酒に映った姫の影を飲み干していきます。酔いの回るほどに暴れ狂い、しだいに酔い伏してしまいます。これを待ち構えていた命は、壮絶な戦いの末、大蛇を退治します。

大蛇の腹を切り裂くと、一本の刀が出てきます。これを天叢雲剣（あめのむらくものつるぎ）と名づけ、天照大神（あまてらすおおみかみ）に捧げます。そしてめでたく奇稲田姫を妻とし、平和で豊かな出雲の里で暮らしていくという物語です。

【出演】

大太鼓 … 下田 勝行	須佐之男命 … 野見山 渉	大 蛇 … 佐々木 俊一	大 蛇 … 蛭名 貴一
小太鼓 … 吉村 公司	稲田 姫 … 石崎 ひとみ	大 蛇 … 倉頭 勇太	大 蛇 … 丸本 哲也
手打鉦 … 日野 俊希	足名稚 … 大畑 強	大 蛇 … 湯月 大生	
笛 … 大西 菜つみ	手名稚 … 河野 信之		